

ブライアン＝ボガース、ドイツ GP でトップ 6 に！



ブライアン＝ボガースが安定してきた。シーズン最高の成績は 2 レースとともに好成績にそろえて総合 6 位入賞。ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP がチームとして堅実に成績を出しながらドイツ GP を戦った。

ブライアン＝ボガースはこれまで体調や運に恵まれず、なかなかそのスピードを成績に残せていなかったが、厳しい戦いとなったドイツ GP で 2 ヒートともシングルフィニッシュ、総合で 6 位を獲得し、これまで尽くしてきた手立ての方向が間違いなかったことを証明して見せた。トップ 10 圏内でのバトルを制したボガースは、まずレース 1 を 8 位で終了したのだ。

レース 2 前に降雨があり、ボガースにとっては恵みの雨になっていた。ファンティック XXF450 を駆って 2 年目のボガースは、チームメイトのゴルデンホフを巧みにかわすと 1 周目には 4 位に浮上。残り 5 周で一つ順位を落としたものの、そのままフィニッシュし 5 位入賞、総合 6 位をものにしたのだ。



ゴルデンホフはレース 2 を 6 位で終え、厳しかった週末の最後を明るいものとして終わらせることに成功した。この日曜日、レース 1 でもスタートはまずまずで 1 周目は 7 位を走った「ザ・ホフ」だったが、序盤で立て続けに 2 度もの転倒を喫してしまう。30 位以降にまで沈みながらもなんとか順位回復を狙ったゴルデンホフだったが、死力を尽くしながらも 16 位まで持ち込むことがやっとだった。

レース 2 ははるかにスムーズな走り出しとなり、スタートでもトップ 5、最終的には 6 位でレースを終え、何とか総合では 10 位に入賞した。今シーズンの半分を経過したドイツ GP 終了時点でのランキングは 4 位。まだまだ自信は揺らいでいない。

チームメイトのアンドレア＝ボナコルシはランキング 7 位を堅守。体調が今一つのまま波に乗れず、朝のウォームアップをキャンセル。レースに集中することを選択した。レース 1 はボガースを含む数名でトップ 10 圏内を争う大バトルとなり、ボガースは集団のトップを走り切って 8 位に、ボナコルシはこれに続く 9 位に入賞したのである。

だがレース 2 ではスタートでマシントラブルに見舞われ出走できず、早々にレースを終えることとなってしまった。とはいえ、ここドイツからの 3 連戦、次のラトビアでもまだまだチャンスがある。

ブライアン＝ボガース：着実なレースができて、とてもポジティブな気分だよ。レース 1 の 8 位はまあまあ硬いポジションだったけど、久しぶりに 10 位以内に入れて気分が上がるきっかけにはなったんだ。レース 2 の直前にひどい雨にやられたけど、そう、僕は雨が得意なんだ。スタートもうまく決まり、4 位でレースのほとんどを支配できたね。残りわずかで後れを取り先行を許してしまって 5 位に落ちたのは残念だったけど、それでも総合 6 位は上出来だろう。この結果を抱えて、ポジティブなムードで来週末のラトビアに臨むとするよ。



グレン＝コルデンホフ：タフなレースだった。そもそも GP を戦えるコンディションまで持ってこれていなかったんだ。まだ体調不良から回復途上って感じだったからね。トレーニングも十分できていなかったから調子も今一つで、それでも日曜日のレース前にはだいぶいい感じになってきていた。だから、リザルトだけ見るとひどい結果みたいだろうけど、リズムはつかみ始めていたから、気分は悪くないんだ。確かに続けてひどいス

タートを切ってしまっていたし、リザルトは今シーズン最低だったけど、また戻ってきている感じがするんだよ。今週はトレーニングできそうだし、次のラトビアは僕が好きなトラックなんだ。何とか表彰台を取り戻して見せたいね。

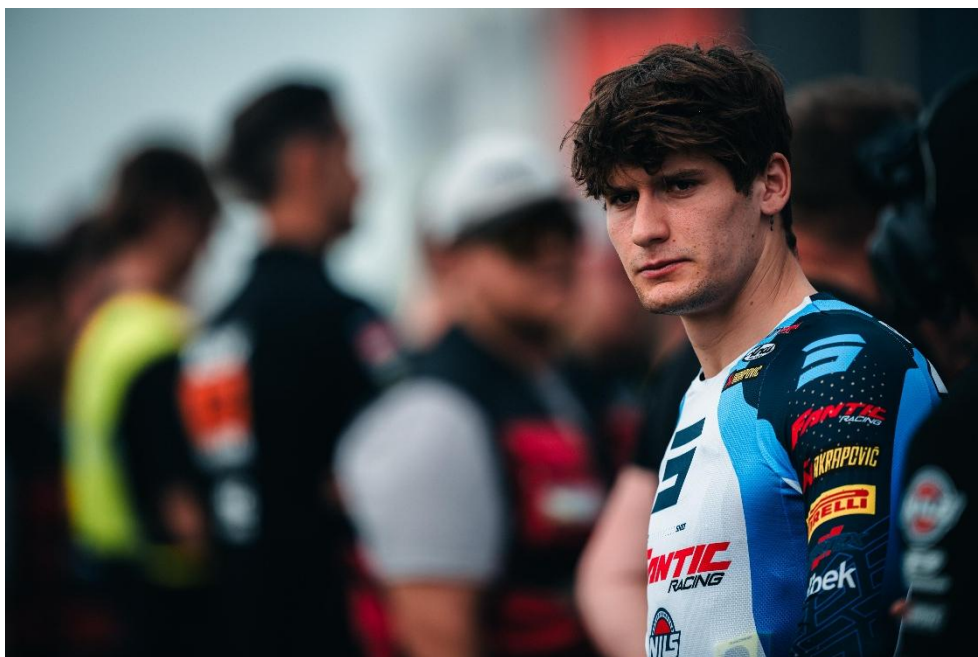


アンドレア＝ボナコルシ：

日曜日のレースを形にするために、体調が悪いなりにできる限りのことをやってみたんだ。

もちろんレース 2 を失ってしまったのは残念だったけど、もう次のラトビアに心は向かっているよ。

目標はとにかく次、だからね。



ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

ファンティックのヤングスターたちも第8戦・ドイツに集結した。もちろん今回も彼らのスピードは好結果を予感させるもので、プラクティスではグループ3位にフランチェスコ・ベレイが食い込んだ。ドウエ＝ファン・メクゲレンも7位を記録している。だがこのテクニカルなコースではそのスピードが生かしきれないままに終わり、ファン・メクゲレンは何とか総合8位を確保するにとどまってしまった。それでも前週、膝を石で強打した後だと考えればまあまあだ。

土曜日のレース1、ファンティック・デュオはスタートに失敗。だが1周目からトップ10までは戻ってきた。二人はともに激しくプッシュし、ベレイは一時、5位まで順位を上げたものの、最終的には6位で、メクゲレンがそれに続いた。だがレース前にペナルティが発覚し、ベレイは8位に降格。メクゲレンが代わって6位に昇格した。

日曜日のレース2のスタートはさらにひどく、ともに大きく順位を落として1周目となった。だがファン・メクゲレンはその中でも果敢に上を狙い続け、最終的には11位で総合8位にまで順位を回復させていた。ベレイは16位でフィニッシュするのがやっとで総合12位となった。

ドウエ＝ファン・メクゲレン：まあ膝の調子を考えたら、この結果を残せたのは上々だと思うね。ずっとスピードは出ていて、群を抜いていたわけじゃないけど基本的にはいつもトップ5にいられる感じだったんだ。だけど特にレース2のスタートはひどくてあっという間に取り残されてしまった。でもラップタイムは最速を記録できたからね。順位もだいぶん戻せて、いい気分だよ。ラトビアに向かうのが楽しみだ。



フランチェスコ=ベレイ：こんな結果でいいとは思っていないんだ。けれど前を抜くのは本当に難しいコースで、それでいてスタートをミスしてしまったからね。でも経験を積むことも大切だ。来週、より強くなるように鍛錬して臨むよ。



FANTIC FACTORY RACING MXGP



FANTIC FACTORY RACING EMX

